



PRIMO[®]
ZOYSIA

プリモゾイシア



日本の自然環境に適合した暖地型芝

新世代のグリーン用ゾイシアグラス「プリモゾイシア」は、従来の高麗芝・姫高麗芝とは全く違う芝質と高い密度を持っています。きめ細かい葉先をボールが滑らかに転がり、刈高3.0mm程度の管理で常時10フィート以上のボールスピードが維持できます。1年を通して最高のプレイヤビリティを提供し、プレイヤーの満足度を上げることが可能です。

高麗芝や野芝の取り扱い経験者であれば、長く培った技術と経験を活かして管理できる品種です。病害耐性、散水要求量の違いから、洋芝と比較して管理費用の節約、及び管理の簡略化ができるメリットがあります。

今後更に進む温暖化に備え、夏のダメージを回避し、シーズンを通して高い顧客満足度を維持できる新しい選択肢、それが暖地型芝のグリーン用新世代ゾイシアグラス「プリモゾイシア」です。



プリモゾイシアと姫高麗芝との比較

未体験の最高品質

- 3.0mmの刈高でボールスピード10フィート以上が可能
- 極細葉、葉色も均一で綺麗な発色
- 高密度、アップライトな葉身で芝目が付きにくく、均一なグリーン面
- 2.5mmの低刈りも可能



高密度で均一なグリーン面

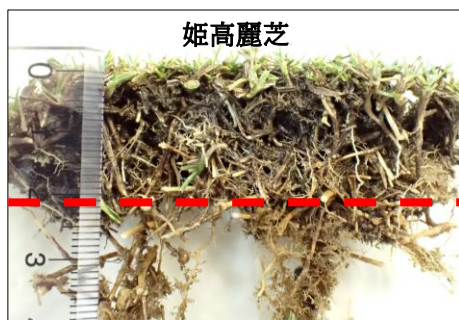
容易な維持管理

低管理の品種

- ベント芝と比べ、少ない肥料と散水要求量
- グリーン用バミューダ芝と比較しサッチ形成が少ないので、更新作業の要求度が低い
- 強靱な根茎により、ボールマークのダメージを軽減
- 乗用モアを使った管理で刈込み作業軽減が可能
- バミューダ芝より40%ほど少ない散水量で生育可能



乗用モアでの刈込作業



姫高麗芝



プリモゾイシア

ライゾーム(地下茎)の厚みの比較 (2024年9月初旬撮影)

環境耐性

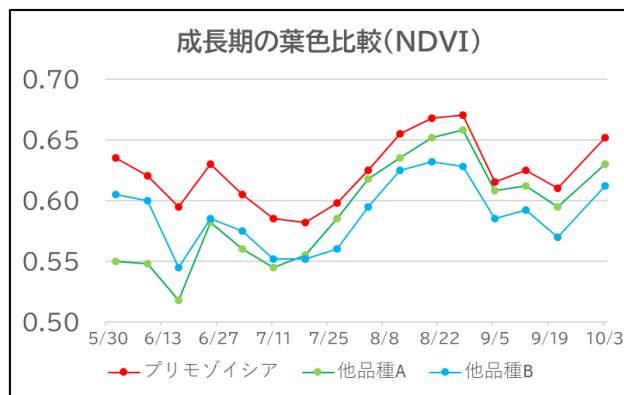
- 幅広い土壌とpHに適応
- 真夏の高温期に旺盛な成長
- 擦切れに強く、踏圧ダメージからの回復が早い
- 耐寒性ゾーン(USDA Plant Hardiness Zone)は、8a (-12.2℃~- 9.4℃) まで生育可能
- 散水の水が良質でなくとも順応し、強い塩害耐性を持つ



プリモゾイシア

姫高麗芝

晩秋の葉色保持性比較
写真:2023年11月30日撮影 茨城県



2021年、テネシー州ノックスビルにおける生育期のゾイシアグラス品種のNDVIによる芝草の色比較

薬剤

- 高麗芝で登録されている薬剤は使用問題なし
- 洋芝の管理と比較し、薬剤費が大幅に削減
- 強靱な根と高密度の芝なので、虫害、病害、に対する高い耐性
- 高密度なので雑草の侵入が少ない



極細葉で高密度

安心導入サポート

プリモゾイシア導入をご希望のゴルフコースには、苗（スプリグ）の植付の時期や方法、初期養生期間の管理及び、生育後の肥培管理のアドバイスなど、安心して導入して頂くためのサポート体制を整えています。詳しくは弊社までお問い合わせください。



導入事例



プリモゾイシアを採用するゴルフコースデザイン事務所

- ジャック・ニクラウス・デザイン
- グレグ・ノーマン・デザイン
- RT.ジョーンズII デザイン
- グラハム・マーシュ・デザイン
- ニック・ファルド・デザイン
- TGRデザイン
- ネルソン&ハイワース・デザイン
- ギル・ハンス・デザイン etc...

※ご不明な点は弊社担当までお問い合わせください 担当:小川・磯村

202410ver

